

2025年3月24日

株式会社三菱UFJ銀行

愛知・名古屋 2026 アジア・アジアパラ競技大会における パートナーシップ契約の締結に向けた合意について

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（代表執行役社長 ^{かめざわ ひろのり} 亀澤 宏規、以下 MUFG）の連結子会社である株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 ^{はんざわ じゅんいち} 半沢 淳一、以下 当行）は、今般、公益財団法人愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会と、第20回アジア競技大会（2026/愛知・名古屋）（以下、アジア競技大会）及び第5回アジアパラ競技大会（2026/愛知・名古屋）（以下 アジアパラ競技大会）のパートナーシップ契約締結に向け、相互に誠意をもって交渉を進めていくことについて合意に至りました。

アジア競技大会及びアジアパラ競技大会は、アジアを代表するアスリートに最高のパフォーマンスの場を提供し、スポーツ振興や国際交流の促進、大会開催を通じた人づくり、また交流人口拡大や国際競争力の強化など様々な効果を生み出し、愛知・名古屋のみならず日本全体の成長に貢献することを目指しています。加えて、愛知・名古屋が、日本、さらにはアジアの障がい者スポーツをリードすることにより、障害への理解促進や、障害のある方の社会参加の促進に大きな役割を果たし、ひいては、多様性を尊重し合う共生社会の実現への貢献を目指しています。

当行はアジア競技大会及びアジアパラ競技大会の目指す姿に共感し、地域社会のさらなる発展と様々な社会への貢献に取り組むべく、大会を共に創り上げていくパートナー企業になることを交渉してまいります。

MUFG は、パーパス（存在意義）を「世界が進むチカラになる。」と定め、全てのステークホルダーが次へ、前へと進むチカラになること、そのために全力を尽くすことを企業活動の指針としています。スポーツが有する人々を集めるチカラ・つなげるチカラを、金融サービスに乗せて、より良い社会の実現をリードしてまいります。

[基本合意書の概要]

アジア競技大会及びアジアパラ競技大会のパートナーシップ契約に関し、以下の条件に基づき、締結に向け協議を進めることについて合意。

協賛ランク	アジア競技大会 Tier2 オフィシャルパートナー アジアパラ競技大会 Tier2 オフィシャルパートナー
協賛カテゴリー・業種	都市銀行
締結時期	2025 年度内のパートナーシップ契約締結を予定

【第 20 回アジア競技大会（2026/愛知・名古屋）概要】

開催期間	2026 年 9 月 19 日（土）～10 月 4 日（日）
メイン会場	名古屋市瑞穂公園陸上競技場
選手団（選手・チーム役員）	最大 15,000 人
実施競技	41 競技
参加国数	アジア 45 の国と地域

【第 5 回アジアパラ競技大会（2026/愛知・名古屋）概要】

開催期間	2026 年 10 月 18 日（日）～10 月 24 日（土）
メイン会場	名古屋市瑞穂公園陸上競技場
選手団（選手・チーム役員）	3,600 人～4,000 人
実施競技	18 競技
参加国数	アジア 45 の国と地域

以 上